

医学・医療に関連する商業紙報道 (平成22年2月1日～2月28日)

官公庁の医療政策		新聞	掲載面	掲載日
税と社会保障の共通番号制度	医療費と介護費 市役所ですぐ教えてもらえました 情報漏れへの対策が焦点に	朝日	3面	2.28
小児専門病院も臓器提供施設に	厚労省研究班が案	朝日	38面	2.28
臓器提供 同意できる家族の範囲	同意できる家族の範囲を原則「配偶者と子、父母、孫、祖父母、同居の親族」とする。	読売	2面	2.19
全面禁煙 厚労省通知	分煙では不十分 法制化せず世論に期待 パチンコ 飲食業界「集客に打撃」懸念	毎日	2面	2.19
厚生労働省 看護師に新資格検討	修士修了など4条件 医療行為拡大許す (新資格「特定看護師(仮称)」)	朝日	6面	2.18
厚生労働省 薬害防止組織設置検討	医薬品行政を監視・評価するため、薬害被害者や医師、薬剤師、法律家ら10人程度で構成する第三者組織の枠組みの大筋をまとめた。	読売	38面	2.17
中医協 2010年度 診療報酬配分決定	診療報酬は10年振りにプラス改訂、技術料等「本体」1.55%の引き上げは昨年末決めた。救急や産科、小児科など過酷な勤務を強いられる分野に手厚く配分。病院、診療所の再診料は690円に統一、原則全ての患者に診療明細書を無料発行する。長年の懸案に決着。	読売	3面	2.14
診療報酬 4月に増額 医療再生めざす一歩	妊婦・小児救急 手厚く ベッド確保を促す策も 産科救急 患者負担も増 「たらい回し」対策に重点 「増額足りぬ」不満も	朝日	2面	2.13
千葉県 2010年度予算案 医療・福祉 特養整備へ3倍増48億	他に認知症対策、重症心身障害児(者)短期入所対策、医師確保策として地域医療再生臨時特例基金の活用や、自治体病院への医師派遣、周産期医療施設運営費補助など。	千日	1面	2.13
ヤミ移植業者への警戒指示 全国の病院に注意喚起へ	厚労省は、海外での臓器移植のヤミ業者や個人から協力を依頼されても応じないよう、都道府県を通じて、全国の医療機関へ文書で注意を促す方針。	千日	19面	2.13
診療報酬改訂	医療再生へさらに大股で	朝日	3面	2.13
診療報酬改訂	政治主導 中医協の頭越し 病院重視 厚労省政務三役が流れ 患者負担どう変わる	毎日	3面	2.13
診療報酬 入院治療に重点	10年ぶり増額改訂	朝日	1面	2.12
厚生労働省「統合医療」推進へ プロジェクトチーム 効果や安全性を本格分析	統合医療の「相補・代替医療」は、伝統医学、自然薬、心身相関、用手療法、食事・ライフスタイル、その他より構成されており、厚労省は2010年度予算に、漢方分野に特化した研究費10億円を新規計上している。	千日	18面	2.12
開業医ためいき 勤務医ひといき	再診料690円に統一 撤廃 再診「5分ルール」 加算を新設 地域医療に貢献 明細書無料発行	朝日	5面	2.11
医療の透明化 前進	中医協、「診療明細書」を原則全患者に無料発行するよう医療機関に義務付けることで合意。	読売	2面	2.5

大学運営

医学部新設「慎重」に	(全国医学部長病院長会議要望)	朝日	夕14面	2.23
医学部新設 申請へ	認可なら79年以来 3私大(国際医療福祉大 北海道医療大 聖隷クリストファー大) 準備	朝日	1面	2.21

研究費浪費あるぞ	型落ち機器放置/使い切り指導 仕分け念頭 若手調査	朝日	38面	2.15
----------	---------------------------	----	-----	------

病院経営

がん通院治療に薬剤師外来	国立がんセンター東病院は2007年、通院医療センターと患者家族総合支援センターからなる通院治療部を発足。08年には副作用に悩む患者対象に化学療法ホットラインを設置。	千日	9面	2.21
C型肝炎とインターフェロン治療	高い医療費・長い治療期間 入院せずに外来で対応も 地域で対策に温度差	朝日	24面	2.16
がん治療 副作用で食欲がない	栄養補給 胃にチューブ(胃ろう) 免疫保ち入院短縮も	朝日	31面	2.12

産科・小児科

産科7割、出産費値上げ	実施・検討 一時金入るまで負担大	朝日	34面	2.11
-------------	------------------	----	-----	------

救急医療

救急外来 軽症なら・・・	特別料金 どう考える 患者減って病院にゆとりも 受け皿整備・収入減など課題	朝日	29面	2.12
--------------	---------------------------------------	----	-----	------

地域医療

東金九十九里地域医療センター 独法評価委が初会合	病院運営の主体となる地方独立行政法人の業務実績や中期目標などをチェックする「地方独立行政法人東金九十九里地域医療センター評価委員会」の初会合が26日、千葉市内のホテルで開かれた。11人で構成する委員は委員長を選定した。	千日	16面	2.27
浦安市川医療センター起工式	市民病院跡 2012年4月開院予定。地域医療新興協会(東京)運営。小児、周産期、救急など。	読売	25面	2.25
銚子市立病院 5月再開目指す	銚子市立病院「再生機構」が設立総会 当面は内科医2人で	朝日	29面	2.24

医療事故・訴訟

東京医大の生体肝移植 謝罪 何だったのか	検査怠り死亡、公表せず 肝移植遺族 公表せぬ病院に憤り 納得行く説明を	朝日	1面 35面	2.12
検視の「見極め限界」に警鐘	「刑事調査官(検視官)」は、全国で196人(09年4月)。09年に検視官が扱った遺体は3万2676体で、遺体全体(除交通事故)の20.3%。他は検視官不在のまま犯罪性の有無が判断される。	読売	3面	2.2

危機管理

未接種男児がポリオ 神戸 接種の子から感染？	生後9カ月男児(神戸市)が12月にポリオ(小児麻痺)を発症、左足が麻痺。ワクチン未接種で、予防接種を受けた他の乳幼児の便などから感染した可能性。	千日	14面	2.19
内科医に救急の基本知識の講習実施	日本内科医学会は、日本救急医学会と連携し、講習会インストラクター養成に乗り出した。	読売	夕9面	2.4

再生医療

新たな治療法の可能性も	iPS細胞介さず神経細胞(iN細胞)作製 米スタンフォード大グループ(ネイチャー電子版)	朝日	24面	2.2
-------------	--	----	-----	-----

予防医学

子供のワクチン 優先度は	新型インフル BCG・・・いつ、どれから？ インフル「今のうちに」 複数同時も接種可能 輸入と国産 何が違う？	朝日	29面	2.10
厚生労働省研究班 腹囲基準に根拠なし	全国男女3万2000人に、心筋梗塞、脳梗塞の発症と腹囲との関連性を調べた結果、腹囲と生活 習慣病発症との妥当性は導き出せなかった。	読売	夕1面	2.9

介護

貸し介護用具 料金差	同製品で7倍の例	朝日	38面	2.28
------------	----------	----	-----	------

医学・医療・科学情報

働くものが身につけるべき知識とは	教育の職業的意義 若者、学校、社会をつなぐ 本田由紀(著) ちくま新書	朝日	15面	2.28
がん医療、充実へ一歩	治療前後のリハビリ促す 適切な告知を後押し どうなる医療2010 診療報酬改訂	朝日	23面	2.23
筋肉痛 知って付き合う	乳酸 実はエネルギー源 炎症で神経過敏・痛みに 「年取ると跡から」は誤解	毎日	18面	2.19
「医療観光」環境整備へアンケート	中国の富裕層照準 年100人規模に拡大狙い	毎日	2面	2.19
Q I 診療実績向上、数値化が広がる	医療の質は、構造、過程、結果の3基準で評価される。医療の質を向上させる狙いから、Q I (Quality Indiscator: 質指標) 測定に取り組む病院等の動きあり。	読売	13面	2.2

新型インフルエンザ関連情報

・感染動向

インフル患者数「注意報」下回る	全都道府県で	朝日	38面	2.20
ノロウイルス 冬の猛威	新型インフル下火と同時期 塩素系漂白剤が有効	朝日	3面	2.18

・対策

保健所66%「人不足」	新型インフル初期対応	朝日	37面	2.27
新型インフル 健康被害救済金 水準高く	弱毒性の新型インフルの予防接種による健康被害救済金の水準を、季節性インフルよりも高くする。	読売	2面	2.10

・ワクチン

予防接種 ミス相次ぐ	新型インフル 注射器を複数回 違うワクチン	朝日	33面	2.12
------------	-----------------------	----	-----	------

・ウイルスの特徴

鳥インフル×季節性=重症化の恐れ	マウス実験、従來說覆す 東大教授ら今週発表(米科学アカデミー紀要電子版)	朝日	37面	2.23
------------------	--------------------------------------	----	-----	------

・対処法

インフル脳症 子ども要注意	けいれんや意識障害 死亡率8% 全身状態の管理 重要	朝日	28面	2.5
---------------	----------------------------	----	-----	-----

・抗インフル薬

タミフル汚染、河川調査	耐性ウイルス出現懸念 薬剤師会	朝日	1面	2.14
-------------	-----------------	----	----	------

・死亡報告

(厚生労働省:新型インフルエンザに関する報道発表資料より)

熊本県 20歳代 男性	2月24日 基礎疾患:不明
東京都 36歳 男性	2月15日 基礎疾患:なし
北九州市 42歳	2月13日 基礎疾患:血液疾患
千葉県 15歳 男性	2月8日 基礎疾患:なし
山口市 50歳代 男性	2月7日 基礎疾患:なし
長野市 70歳代 女性	2月7日 基礎疾患:うっ血性心不全 心房中隔欠損症(術後) 心房細動 慢性肺塞栓 肝性脳症(うっ血性肝硬変)等
茨城県 40歳代 男性	2月5日
浜松市 60代 女性	2月3日 基礎疾患:あり 季節性インフルエンザワクチンは接種済
静岡県 80代 女性	2月2日 基礎疾患:高血圧症 糖尿病 脂質異常症 高尿酸血症 季節性インフルエンザワクチンの接種有り

注記 1. 千日:千葉日報 2. 読売新聞の見出し他は著作権等があり文面は掲載記事文章とは違います 3. 日本経済新聞は著作権等があり除外